



報道関係各位

2022年12月15日  
マテル・インターナショナル株式会社

ダイキャストカーのパイオニア「マッチボックス」から  
レトロな箱に入った、日本車種のみを集めたダイキャストカーが新登場！  
**「マッチボックス ジャパンシリーズ アソート 第二弾」**  
**12月下旬より発売**



世界大手の玩具メーカー、米国マテル社の日本法人であるマテル・インターナショナル株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：マーク・パンサー）は、ダイキャストカーカテゴリーのパイオニアである「マッチボックス」から、「マッチボックス ジャパンシリーズ アソート 第二弾」を12月下旬より発売いたします。

**【Point】**

- ✓ ミニカーを世界で初めて販売したのはマッチボックス。1953年にイギリスで登場し、来年2023年に70周年を迎える。
- ✓ マッチ箱を模したパッケージに、小型のミニカーを収めて販売したことが「マッチボックス」の起源。
- ✓ 「マッチボックス」はエコでサステイナブルなミニカーブランドとして緩衝材として紙が利用されており、プラスチックフリーである点も特徴となっている。
- ✓ 今回は、**日本車種のみを集めたダイキャストカーアソートの第二弾**が新登場！  
1970年代に日本で発売されていたことを想起させる、**レトロな箱のパッケージもポイント！**

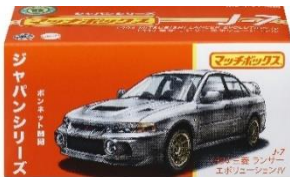


## 【「マッチボックス ジャパンシリーズ アソート」商品一覧】

各車種それぞれにギミックが付いた、日本車種のみを集めたダイキャストカーアソートが登場します。1970年代に日本で発売されていたことを想起させる、レトロな箱のパッケージも特徴的です。

### ■ 1994 三菱 ランサーエボリューションIV

1992年に小型セダンのランサーに、中型セダン、ギャランの最強モデルであるVR4用の2リッターターボとフルタイム4WDシステムを移植して生まれたランサーエボリューション（ランエボ）をマッチボックスでは第2世代のトップバッターとなったエボリューションIV（エボIV）を、ジャパンシリーズデビューの新金型でリリース致しました。太いタイヤを履くために年々ボディが幅広くなっていくランエボの中では、エボIVは最後の5ナンバーサイズ（全幅1,700mm以下）車で、世界ラリー選手権で大活躍するなど現在も高い人気を博しています。歴代ランエボの中でも最も生産台数が多いことで知られており、開閉式のエンジンフードを開けると赤いヘッドが特徴の4G63エンジンが確認できます。



### ■ 1982 ダットサン 280ZX

手頃でスタイリッシュな高性能スポーツカーとして、特にアメリカ市場で大ヒットしたフェアレディZ（輸出仕様名はダットサン240Z）。今回は快適性やアメリカの法規に合わせた安全性の向上を目的に、1978年にフルモデルチェンジがされた、2代目フェアレディZ（輸出仕様名はダットサン280ZX）をモデルとしてリリース致しました。車名の280は2.8リッターエンジンを意味し、ボディカラーは'70年代後半のカスタムカー的なイメージでまとめられ、テールライト周りは後期型風の彩色が施されております。



### ■ 2023 日産フェアレディZ

日本でも2022年夏ごろからデリバリーが開始された新型フェアレディZ（RZ34型）。最初に発売された実車は2021年にワールドローンチされたイカズチイエローのプロトタイプをモチーフにしたプロトスペックですが、マッチボックスでは2023年型の量産車を題材といたしました。開閉式のドアを開けると、外観同様、初代をイメージした3連センター補助メーターを備えたダッシュボードも再現されていることが分かり、ボディカラーはイカズチイエローに続いてメディア露出の多い、セイランブルーをチョイスしております。また、ルーフとホイールは実車同様にブラックアウトされております。





### ■ 1963 ホンダ T360

バイクメーカーとして始まった、ホンダ初の4輪自動車として1963年に発売されたのが軽トラックのホンダT360です。単なる軽トラックではなく、当時は一部の海外製高級スポーツカーにしか搭載例のなかった、DOHCエンジンを日本の量産車としては初めて採用しており、またそのエンジンも車体中央にマウントされるなど、独創的なクルマとして有名になりました。実車同様、ヘッドライトを車体側に残して開閉するフロントフードが何よりものチャームポイントで、すでにマッチボックスの大人気金型で、初版の水色、第2版の黄色×赤ストライプに続く3色目が今回のダークグリーンとなります。



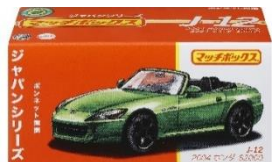
### ■ 1975 三菱ランサーセレステ

セレステは、若者向けのスペシャルティカー・カテゴリーに向けて、三菱が1975年に発売したモデルです。基本的なコンポーネントは、同社の小型車、ランサーのものを流用していましたが、一番の特徴は当時のアメリカ車をダウンサイジングしたようなスタイリッシュなファストバックデザインのボディです。当時の三菱はアメリカのクライスラーと提携関係にあったことから、クライスラーのプリマス・ブランドからアローの名でも発売され、高い人気を誇っており、マッチボックスではアメリカ仕様のプリマス・アローではなく、右ハンドルの日本仕様、三菱 ランサー セレステとして発売いたします。日本仕様ならではのフェンダーミラーなどディテール表現も抜かりがなく、エンジンフードを開けると1.6リッターエンジンがしっかりと再現しております。



### ■ 2004 ホンダ S200

ホンダの創業半世紀を祝うべく1998年に発表、1999年に発売された2人乗りのスポーツカーです。車体は完全に専用設計で、車体上から見るとフレームが「X」形状になっている堅牢なシャシー（車体の床部分）を採用し、オープンカーながら、非常に頑丈な車体となっています。今回は、同車が外観にマイナーチェンジを受けた2003年以降の北米仕様車を再現しました。エンジンフードが開閉式で、242馬力を発生するF22Cエンジンを収めており、ボディカラーは実車では非常に希少な純正色、ライムグリーンメタリックをチョイスしております。



商品名	: マッチボックス ジャパンシリーズ アソート
メーカー希望小売価格	: 税抜 各400円 (税込 各440円)
発売日	: 2022年12月下旬より順次発売
対象年齢	: 3才以上
サイズ (cm)	: W7.9×D3.8×H3.8
発売元/販売元	: マテル・インターナショナル株式会社



### マッチボックスについて

マッチボックスは、1953年にイギリスで発売開始された、ダイキャストカーの 카테고리におけるパイオニアです。Jack Odell が子どもが持ち運びできるようにするために作成し、マッチ箱を模したパッケージに小型のミニカーを収めて販売したことに由来しています。その後登場したミニカーに大きな影響を与えたと言われています。実車を忠実に再現したデザインが特徴になっており、ファクトリーストックを重んじたライセンスカーをメインに、イギリスなどの欧州車系の車種ラインアップが充実したダイキャストシリーズです。



公式ゲームページ（英語） <https://www.mattel.com/en-us/matchbox>

※こちらの動画や画像の商品の中には日本でお取り扱いのないものが含まれる場合がございます。

### マテル社について

マテル（Mattel）グループは、玩具およびファミリー向け製品のデザイン、製造、マーケティングにおける世界的リーディング企業です。マテル社のベストセラー・ブランドとして、史上最も有名なファッションドールバービー（Barbie®）のほか、ホットウィール（Hot Wheels®）、きかんしゃトーマス（Thomas & Friends®）、フィッシャープライス（Fisher-Price®）、メガブロック（MEGA® BLOKS）に加え、様々なエンターテインメントから着想を得た玩具ラインがあります。マテル社は、2015年に『Ethisphere Magazine』の「World's Most Ethical Companies(世界で最も倫理的な企業)」に選ばれ、2014年に『Corporate Responsibility Magazine』の「100 Best Corporate Citizens」で第5位に選ばれています。全世界の事業を統括する本社をカリフォルニア州エルセグンドに置くマテル・グループは、150以上の国で製品を販売しています。

公式サイト：<http://www.mattel.co.jp/>